



大原小だより NO9

《学校教育目標》

自らの考えをつくり、協働しながら活動し、社会に貢献できる素地を育てる
「主体」「協働」「挑戦」

美作市立大原小学校 令和 4, 8. 29 (月) 発行 文責 金島久美子

1 新しい夏休み課題の取組 お世話になりました。



今年度の夏休み、大原小学校では、ドリル等の課題をやめ、全児童が ChromeBook を持ち帰り、「自ら問いを見つけ、課題を解決する自主学習」(自由研究)に取り組みました。特に6年生は、担任とメールでやりとりをしながら学習を深めるという新しい学びに挑戦しました。ご協力ありがとうございました。

子ども達の課題・作品の展示・交流会を開催する予定です。

2 育てたい心・主体・協働・挑戦

【1】 「何のために勉強するの？」

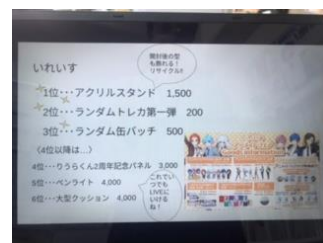
多くの人にとって、究極の質問であり、永遠の疑問とも言える「何のために勉強するの？」の解を見つけた児童がいました。ご了解を得て、ご紹介します。

その児童は買ってほしい物があり、保護者をお願いしました。保護者の方は「プレゼンして説明してごらん」と言われました。児童は持ち帰ったタブレット端末のプレゼンテーションソフトを用いて、あっという間に欲しい物の理由、優先順位、金額、それがあることの利便性などをまとめ、保護者の方に説明したそうです。結果は・・・♥

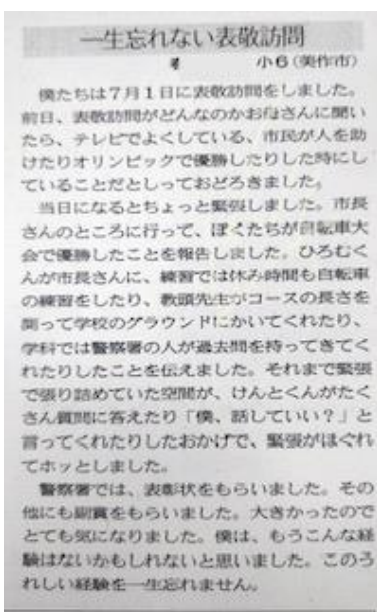
その児童は、「主体」の心をフルに使うとともに、究極の質問の答えまで自分で導きました。

その答えとは、「学校の勉強で身に付けた内容や手段を活用して、自分の生活に生かす。」 = 「利活用する」「生きる力」とも言えます。

この夏は、その力をつけるための自主学習の取り組みでした。保護者の皆様ご協力ありがとうございました。



児童のプレゼン例



6年生2名が山陽新聞ちまた欄ヤングコーナーに掲載されました。 8月19日：春名樹歩さん、20日：春名湊斗さん。

1 春名樹歩さんは、遠足をテーマに、縦割り班のリーダーとして入学したばかりの1年生を含む下級生を連れて、徒歩遠足を責任もってやり遂げたことを投稿しました。「協働」の心が大きく育ったことが書かれています。☺

2 春名湊斗さんは、自転車大会優勝の市長表敬訪問について投稿しました。友達と励まし合いながら取り組んだ「協働」、学校代表として、初めて美作市長に自分達の取組を報告という「挑戦」の心が大きく育ったことが書かれています。☺

こうした心に残ったことを社会に向けて地域の皆様に向けて発信できるのも、社会に向けた「挑戦」の心が大きく育っているのだと思います。

2学期は「心が育つ」学校行事の多い学期です。

自己肯定感、大人をはじめとした他者から褒めてもらうことで培われるといわれますが、もっと大事なことは、こうした「主体」「協働」「挑戦」の行動を通して、児童自身が「心が育ったな」とわかることが重要です。

2学期は、3つの心をもっと具体的にすることで「児童がわかること」を大事にした取組を学校全体でめざします。

3 地域の方から



1 PTA 奉仕作業ありがとうございました。

お忙しい中、保護者の皆様のご協力で学校がピカピカになりました。

2 ご厚志をいただきました。ありがとうございました。

○むさし青少年育成会様

6 月末の自転車競技大会の優勝のお祝いとともに、全国大会の中止に伴う次年度の大会に向けた支援金を頂戴しました。

○学校医、眼科医の松岡先生

ご厚志をいただきました。ありがとうございました。



むさし青少年育成会様

4 地域とともに

1 3年生のひまわり「地域で咲く」

人権の花として種をいただき、3年生が育てたミニひまわりが見事な花を咲かせました。「花が咲いたら地域の方へプレゼント」と予め3年生が作ったカードとともに地域の関係機関にプレゼントしました。

「きれいだったよ。」「ひまわりの種がほしいです。」との地域の方からのお声をいただいたり、「花のお返しに、こんな講演会がありますよ。」とのありがたいお声をいただいたりしました。

こうして、地域の方々とともに歩いていくことができ、ありがたいです。



人権の花のひまわり

2 本校の学校通信が地域に???

地域の方からご要望があり、通信を大原町内の関係機関に置かせていただくこととなりました。是非、地域の方にご紹介ください。

3 「永ちゃん田んぼ」デザインがくっきりと。

稲の生育とともに、こんなにも田んぼアートのデザインが明瞭になりました。実りの秋はもうすぐ。5年生が刈り入れをする予定です。

国道429号の中学校への坂道付近からよくご覧いただけます。



「心が育つ」2学期の学校行事へのご協力をお願いします。

「青春は密だ。」

この夏、甲子園優勝の宮城県の仙台育英高等学校の監督の言葉です。2学期は、学校行事を通して、心を育てることのできる学校行事が目白押しです。学校全体で取り組む運動会、宿泊を伴う6年生修学旅行、1~5年生の遠足。チャレンジタイムでの取組など、「密になって」主体・協働・挑戦の機会が多い分、新型コロナウイルス感染のリスクも高くなるかもしれません。

本校でも、始業式直前になって、陽性者・濃厚接触者も急激に増加しています。感染対策を講じ、できるだけ、学習活動の目的を達成できるよう、学習活動を工夫したり、変更したりしていきます。

直前の変更等、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご協力宜しくお願いいたします。

永ちゃん田んぼ



○福田教諭について

1 学期末からお休みを頂いております。2 学期からは、代員として、1・2 年図工、書写等については、春名静美、岡本智江の両名が指導します。

ご心配をおかけします。どうかよろしく申し上げます。